



江田島市

議会だより

〈元衆議院議長 灘尾弘吉 書〉

2005.5.1 第2号



笑顔満開!

〈平成17年3月10日 市内中学校卒業式〉

主な内容

平成17年3月定例会…… 2・3

一般質問 Q&A …… 4～13

臨時会 (第1・2回) …… 14
主な議案の概要

おめでとう自治功労表彰…15



平成17年度予算

一般・特別会計

総額327億円可決!



鹿川小学校完成予想図

能美町の鹿川小学校の校舎改築工事を、5億8,800万円を古澤建設工業株式会社(江田島市大栴町小古江)と請負契約することに同意しました。

工期は、来年2月20日までで、来春卒業する児童が少しでも新校舎で過ごせるよう早期完成を目指しています。

来年2月完成予定 鹿川小学校校舎を改築

満75歳以上の高齢者、障害者及び通院のために旅客定期船(フェリー、高速艇を含む)を利用する場合の運賃助成の適用を、江田島市全域の対象者に拡大します。

適用区間は、

- ① 沖美町各港及び江田島町大須港から広島市宇品間の航路。
- ② 江田島市交通局の運航する能美町中町・高田から広島市宇品間の航路。

全市域に制度拡大 高齢者旅客船等運賃助成

可決した主な議案

条例の制定

総合計画 審議会条例

本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、地方自治法に規定する基本構想を定めるための審議会を設置する。

委員は関係行政機関・団体の役員及び学識経験者のうちから20人以上をもって組織し、市長の諮問に応じて振興計画の策定、土地利用計画に関することなどを調査・審

行財政改革 審議会条例

本市の行財政の合理化、効率化を推進するための審議会を設置する。

委員は市議会議員、市職員、知識経験を有する者のうちから15人以上をもって組織。行政組織、職員定数、補助金、事務事業の合理化など市長の諮問に応じて審議します。

情報公開条例

この条例は、住民の知る権利を尊重し、市民に公文書の公開を求める権利を保障することにより、市の行政に関して、市民への説明責任を全うする

ととも、市民の市政参加を助長し、市政に対する市民の理解と信頼を深めることを目的としています。

個人情報保護条例

本条例の目的は、個人情報(氏名、住所、生年月日、学歴、職業、所得、資産、心身の状況など特定の個人に関するすべての情報)の、適正な取扱いの確保に必要事項を定めるとともに、市の機関が保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める個人の権利を明らかにすることにより、個人の権利・利益の保護を図り、公正で信頼される市政の推進を目指すものです。

恒久平和を願い決議 非核市宣言

世界の核をめぐる情勢は、依然として緊迫の度合いを強めている。

今こそ一人ひとりが、人類の生存のために核兵器の廃絶と絶滅を強く要請しなければならない。

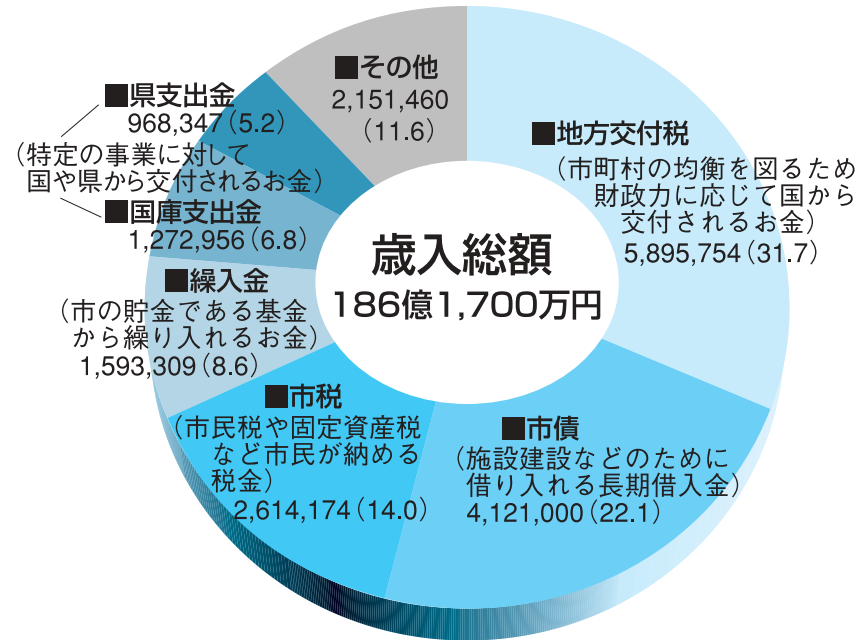
核兵器の廃絶と平和を推進する決意を提唱し、あらゆる国の核兵器の廃絶に願いを込め、安全で住みよい郷土江田島市を守り続ける決意を新たに、ここに江田島市を平和利用を除いた「非核市」とすることを宣言する。

平成17年3月15日

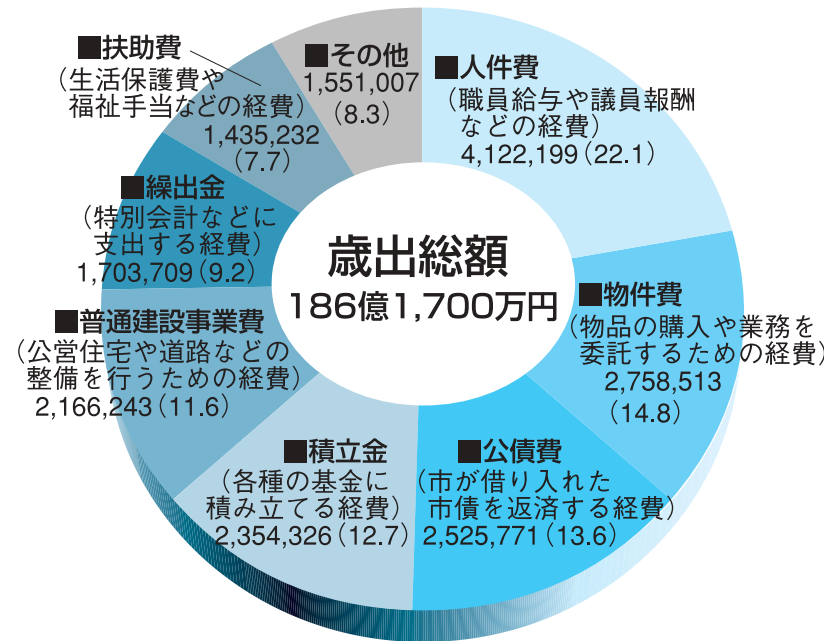
広島県江田島市議会

一般会計予算

■ 入ってくるお金 [単位：千円 (%)]



■ お金の使いみち [単位：千円 (%)]



平成17年第3回定例会は、3月7日に招集され、31日までの25日間の会期で開かれました。

平成17年度一般会計及び特別会計予算をはじめ、情報公開条例案、鹿川小学校校舎改築工事請負契約の締結など47の案件が提出され、いずれも原案どおり可決しました。

また、一般質問では、21人の議員が当面する行政課題についてたずねました。

一般会計186億1700万円
特別会計141億7000万円

3月定例会に提案された17年度当初予算は、市長の施政方針説明が行われた後、5つの常任委員会に付託されました。各委員会での予算細部における慎重な審議を経た後、25日の本会議で各委員長からその結果が報告され、賛成多数で可決しました。

一般会計の内容は、ラフのとおりです。

投資的経費である普通建設事業の主なものは、学校給食共同調理場建設事業、高機能消防指令センターシステム整備事業、下水道整備事業などです。

一方、当面する財政危機からの脱却と中長期的には健全な財政基盤の確立の観点から、市税等の収納率の向上、旧町の事業との継承性にも配慮しながら「選択と集中」による事業の重点化とスリム化、地方債の縮減など限られた財源の中での予算措置となっています。

一般質問 Q&A

職員の適正な配置について

沖也寸志 議員

「行財政改革審議会」に諮問する

市長

Q 職員の環境と適材適所に尽力すれば8、127万円の残業代の削減になるのでは。

A 旧町の残務整理並びに新市の業務が輻輳したこともあって、職員の超過勤務が増大した。健康面・経費面や各部署との人事交流も視野に

全体を見据えた適正な人事配置に努める。

Q 460人の職員数は、3万人の人口に対して適正か否か。

A 「江田島市行財政改革審議会」に諮問する。

Q JA呉中町支店を年間239万円で借り

上げているが、既存の公共施設の活用は。

A 本庁舎に近いこと、執務スペースの確保等、一定の要件を満たしていたので、改善の策として借り上げた。



▲市教育委員会が入っているJA呉中町支店ビル

三高港の整備を

登地 靖徳 議員

「対策協議会」を立ち上げる

市長



▲フェリーが発着する三高港

Q 市営交通船と芸備商船(株)のフェリーが、同じ時間帯に能美島と広島港間を運航しているが、江田島市誕生を機に無駄を廃し、経営効率を上げ、運航時間の短縮・待ち時間の短縮に係る政策は、市行政に利益をもたらす、住民の利便性を図ること

となり「住んでみたい島・豊かな島・栄える島」の実現になるものと考え。そのためには、フェリーポートの母港を広島に一番近い三高港に置き、海上交通の最適な運航計画とその発着に合わせたバスの運行が最善と考え

A 早速、本年度「江田島市交通問題対策協議会」を立ち上げ、交通体系に関する総合的な調査・研究を行うよう準備を進めて、公共交通を最善のものとするために努力する。

学力向上への取り組みは

津田 紘吏 議員

調査を行い改善を図る

教育長

Q 全国的に子供の学力が低下していると言われている。この現状を踏まえ、学力向上への取り組みはどのように行っているのか。

A 学力調査を行い、指導方法や教育計画の改善を図り、教職員の資質向上に努めると共に、

教育の向上に積極的に取り組む学校には支援をする考えである。

Q 観光客を増やすための具体策は。

A 4町合併は観光面において、大きな期待が持たれています。観光客を増やす具体策は、持っていますか。

A 観光協会と連携し、県外へのPRも実施する。

ふるさと交流館を柱に観光マップの作成、イベントの継続など観光事業の推進を図ると共に、県外にもPR活動を実施していきたい。

▼能美中学校での授業風景



大丈夫か、救急依頼？

山根 啓志 議員

応急手当の体制を構築

市長

Q 平成15年度の救急要請は、1,369回、前年比146件増加。現在、65歳以上の一人暮らしの方が2,572人以上おられ、さらに増加している。今後、救急要請に際されるか。

A 将来の高齢化社会に伴う、救急需要の増加に対応するためには、

救急車台数の検討も含め、全市民的観点から、普通救急講習会を積極的に開催し、応急手当の体制を構築する。

Q 救急要請した際、救急車両がない時は、年間では、同時に出勤していることもありますが、その時は救急隊員を消防車両に乗せて応急

対応している。将来の救急の増大を見据えた中で、どうあるべきか検討する。

Q 江田島北部・沖美北部地域に、救急対応のできる赤バイ(※)の常駐を。

A 赤バイの運用については、できるだけそのような体制も考え、応急処置のできる市民の育

成、へりによる搬送を含め検討する。

(※)赤バイ
火災や震災などの発生時に、いち早く現場の情報収集し、救助へつなげる初期活動をする消防活動二輪車。



▲江田島市消防本部

Q 施政方針をただす

山木 信勝 議員

A 歳出の抑制と効率化に努める

市長

Q 新年度予算編成においての財政健全化の取り組みは。

A 方針として、事務事業の見直し、経常的経費・投資的経費等歳出の抑制と効率化を目標に編成したが、旧町からの継続事業、合併調整の事業等もあり補助費等4、

300万円余、公債費5、300万円余、単独事業等の削減等で2億9、600万円余の減額となった。

A 地方交付税は基準財政収入額、基準財政需要額とも各団体の事情により相当の差が生じ、それぞれの交付税額は異なります。

政の協働による町づくりに取り組みます。

Q 国全体の地方交付税は、前年度比0.1%増ですが、本市では0.3%の減です。これは、過少見積もりでは。

A 合併振興基金を活用した施策は、コミュニティづくりを推進し、市民と行

政の協働による町づくりに取り組みます。

Q 合併振興基金を活用した施策は、コミュニティづくりを推進し、市民と行

政の協働による町づくりに取り組みます。

▼ 施政方針説明する曾根市長（後方右、田中議長）



Q 地域産業政策について

新家 勇二 議員

A ブランド化を検討する

市長

Q 経済のグローバル化と少子高齢化に伴う地域産業政策について。

A 各種団体等の意見を聞きながら、子供を安心して産み育てられる環境整備に努める。

A 新産業の育成及び当市の基幹産業である農業・水産業における産物のブランド化等を検討し、産業の推進を行う。

Q この度の合併が「本当にしてよかった」と思えるよう、業務内容の詳細が決まってない事項等を早急に整備する取

Q 今後の子育て支援策を市民のニーズに合う

り組みは。研修等を行い、接遇面を含め資質の向上を図り、行政サービスを職員全員が市民の立場で考え、負託にこたえる。

▲ 平成17年3月28日落成した宮ノ原水産振興センター



Q 保育士・幼稚園教諭の待遇は

加藤 隆光 議員

A 働きやすい環境を目指す

市長

Q 保育士等の職務の級は6級職どまりで、主幹職のある一般事務職に比べて問題があるので。

る仕組みが職務級の原則となっている。旧4町でも6級職であったことから現状で対処したいのでご理解ください。

A 労働基準法上、45分の休憩等は義務づけられていますが、一般職に比べて現場から離れられないのも事実で、職場環境を整備・改善するために、江田島市臨時保育士登録制度を設けて必要に応じて雇用し、働きや

すい環境を作っていくたい。

▼ 楽しく遊ぶ中町保育園児



A 職員の職務については職務の複雑、困難及び責任の度合いに基づき給料表に定め、分類す

Q 規定されている途中休憩が取れず、手当も支給されないのは、労働の対価の搾取では。

すべきでは。今は兼務です。4月からは人員配置等見直す予定であり、体制の整備を図り専務体制にする。

Q 安全・安心な町づくりは

住岡 淳一 議員

A 生活安全係を専務体制で

市長

Q 「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の中で、市政移行後、市民生活課の中に生活安全係を作ったことは、画期的なことだが、生活安全係は兼務になっている。「安全・安心な町づくり」を目指すなら、専務体制に

今年から、犯罪や交通事故から子供達を守る目的として、10番の車制度も発足しており、巡回広報、通学路での街頭指導、交通安全教室の開催など交通安全政策を推進していく。また、新たに「交通安全対策会議」

を設置します。防犯対策に関しては、県・警察と連携を図りたい。



▲ 車110番（点線内はステッカー拡大写真）

Q 年間行事計画や方針は。

今年から、犯罪や交通事故から子供達を守る目的として、10番の車制度も発足しており、巡回広報、通学路での街頭指導、交通安全教室の開催など交通安全政策を推進していく。また、新たに「交通安全対策会議」

Q 海上ロッジ前の造成は

大石 秀昭 議員

A 現段階では難しい

市長

Q 海上ロッジ前の山の造成費のカットはなぜか。
また、畑一号線の測量費のカットはなぜか。予算上の引き継ぎ事項は大切に、予算執行するように考えているとのことですが、全て予算を

カットしているから、旧能美町民は合併しなかった方がよいという声があります。

A 海上ロッジ前の造成は、旧能美町議会も承認している引き継ぎ事項です。港湾埋立工事は進められている。県管理港湾

埋立工事は、既に残土により執行していて、改めて現段階での土切りによる土砂搬入は難しい。

Q 南部落の潮間の清掃は、昨年の旧能美町議会広報で約束しております。6月補正をしていただきたい。

A 新規事業については、緊急性、財政状況等総合的に判断し、実施する。



▲ 海に面した能美海上ロッジ周辺

Q 台風18号災害復旧について

大方 俊治 議員

A 今年度早期完了目指す

市長



▲ 台風18号で被害を受けた外美能漁港

Q 美能漁港復旧について、平成16年9月7日台風18号で外美能漁港は防波堤が崩壊し、漁船の沈没等がありました。復旧は今までのブロックを使用するのか、今よりは強度にしていけるのか、予算・工期はいつ頃になるのか。

A 工期は、平成17年3月10日から平成17年12月5日まで。工事費は3億1,000万円です。復旧しても風速26.6m、波高3mの強度では崩壊するのではな

Q 県には台風シーズンまでに完成するようお願いし、風速60m対策を要望する。

A 県には台風シーズンまでに完成するようお願いし、風速60m対策を要望する。

Q 子供達に豊かな教育を

山本 一也 議員

A 家庭・地域・学校で取り組む

教育長

Q 子供達が笑顔を取り戻せる豊かな教育の創造を、いかに実現させるのか。

A 家庭と地域と学校が一体となり、市民一人ひとりが尊重し合う中で、危機管理、不登校、障害児教育、教員の資質の向上等の課題に対して、計画を策定しながら取り組んでいく。

Q 各支所においては、予算や権限を充実させ、本庁から支所へ仕事を戻して、機能を充実させるべきでは。

A すでに支所長に対して指示しているが、これからも、ますます支所の機能を充実させ、笑顔の絶えない地域づくりを目指します。

▼ 元気な江田島小学校の児童



▲ ワークセンターおおきみ

Q 障害者保健福祉基本計画は

沖元 大洋 議員

A 18年度策定に向け準備する

市長

Q 支援費制度の利用状況は。

A 2月末現在、身体障害者は延べ51人、知的障害者は延べ99人が利用している。

Q 障害者に対する市民の理解を高める努力はしているか。

A 手話通訳者派遣事業の全市での展開。障害者生活支援センターの

開設を予定している。

Q 障害者に配慮した道路、住宅の整備は。

A 現在、大柿町真道住宅は段差のない間取りで、建設予定の美能住宅においても十分配慮する。

Q 生活福祉資金貸付制度の利用度は。

Q 障害者やその家族の社会的自立を促進する支援は。

Q 有事災害等の緊急時の防犯・交通の安全対策は。

Q ロッジ浮棧橋の更新は

古本 眞機 議員

A お互いの信頼関係構築を

市長

Q 昨年4月に内能美漁協から海上ロッジ浮棧橋とその周辺干潟の更新を拒否するとの通知があった。その後、5月に9月30日までにロッジ浮棧橋を撤去するよう通知もあり、以後旧能美町長

との交渉は進展していないように思われます。これは、漁協と旧能美町の確執があったと私には思われます。
A 今後、漁協との交渉は、海上ロッジは、江田島市の中にあつて観

光レジャーを担う重要な宿泊施設であり、干潟でのアサリ等貝の成育も欠くことができません。また、浮棧橋も宇品港から海上ロッジへの重要なアクセス手段であります。新生江田島市になり、

今後水産振興においても漁業関係者の皆さんとの協議を重ね、お互いの信頼関係を構築の上で、しっかりと対応したいと思っております。



▲ 高速艇の発着する海上ロッジ浮棧橋

Q 地域包括支援センターは

片平 司 議員

A 「運営協議会」を立ち上げる

市長



▲ 能美福祉センター

Q 平成17年10月から、施設・短期入所などの利用が、住居費・食費が全額負担となります。江田島市では、施設412人、短期入所146人の利用です。家族が困らない対応が必要と思うが

A 法律の趣旨に添った介護保険の運用を進める。
Q 地域支援の総合相談、介護予防マネジメント、包括的・継続的マネジメントの基本的な機能案が出ている。江田島市としてどのように具体化するのか。

A 「運営協議会」を立ち上げ検討する。
Q 市民の住宅環境改善と建設業者の仕事起こし、雇用対策拡大の施策として住宅リフォーム助成制度を提案したい。地元業者に発注すると、工事費用の5〜10%助成する制度で、埼玉県では

500万円の予算で、24倍の1億2,000万円の経済効果が出ている。わずかな予算で市民も業者も助かるリフォーム助成実施について。
A 助成制度は、財政的に難しい。

Q 放課後の児童育成事業は

石下 洋子 議員

A 旧能美3町に合わせた

市長

Q 両親が働いている児童のため放課後児童健全育成事業が、4月から縮小されるが、この事業の主旨から考えて縮小すべきではないと思うが。
A 財政的に困難なので、3町に合わせて縮小した。

Q 多くの市民が「国保税が高い、なんとかならないか」と言っている。国保基金(7億円)を取り崩しても減額できないか。
A 国保財政は、毎年1億5,000万円赤字。減額は適当ではない。

Q 大須・秋月小学校PTAと市当局が、学校統合についての覚書を取り交わしたとのことだが、両校の統合は、市議会でもまだ議決されていない。議決前に覚書を取り交わすのは問題ではないか。

A 覚書の締結は、統合に向けての前段階で、統合を決定するのではない。
統合の決定は、市議会の議決である。

▼ 放課後児童健全育成事業施設



Q 農・水産業に助成制度を

山本 郁男 議員

A 技術、情報等で援助する

市長



▲ 江田島湾での底引き漁

Q 昔よく獲れていた、よなき貝・シヤコ・トリ貝等が全く獲れなくなった。海底の酸素不足によるものではないか。昔の漁法の一つで、貝漕ぎ等で使うケタ漁に助成制度を設け、海底を耕すのも手法の一つではないか。

A 個人の事業に補助金を出すことは非常に難しい。その他の技術面、情報等で援助していきたい。
Q 5戸以上の就農者が、新種の苗等を購入し、ブランド化を図ろうとする

る時に、助成を行うことも活性化につながるのではないか。
A 野菜組合、花き組合、果樹組合等が市内の各地域にあるので、そこに助成を行っている。
Q ゴミステーションに放置されている家電

等の不法投棄物処理は、一定期間において処分するが、心無い人達がいるのは非常に残念です。

Q ロッジ浮棧橋の更新は

古本 眞機 議員

A お互いの信頼関係構築を

市長

昨年4月に内能美漁協から海上ロッジ浮棧橋とその周辺干潟の更新を拒否するとの通知があった。その後、5月に9月30日までにロッジ浮棧橋を撤去するよう通知もあり、以後旧能美町長

との交渉は進展していないように思われます。これは、漁協と旧能美町の確執があったと私には思われます。
A 今後、漁協との交渉は、海上ロッジは、江田島市の中にあつて観

光レジャーを担う重要な宿泊施設であり、干潟でのアサリ等貝の成育も欠くことができません。また、浮棧橋も宇品港から海上ロッジへの重要なアクセス手段であります。新生江田島市になり、

今後水産振興においても漁業関係者の皆さんとの協議を重ね、お互いの信頼関係を構築の上で、しっかりと対応したいと思っております。



▲ 高速艇の発着する海上ロッジ浮棧橋

Q 地域包括支援センターは

片平 司 議員

A 「運営協議会」を立ち上げる

市長



▲ 能美福祉センター

Q 平成17年10月から、施設・短期入所などの利用が、住居費・食費が全額負担となります。江田島市では、施設412人、短期入所146人の利用です。家族が困らない対応が必要と思うが

A 法律の趣旨に添った介護保険の運用を進める。
Q 地域支援の総合相談、介護予防マネジメント、包括的・継続的マネジメントの基本的な機能案が出ている。江田島市としてどのように具体化するのか。

A 「運営協議会」を立ち上げ検討する。
Q 市民の住宅環境改善と建設業者の仕事起こし、雇用対策拡大の施策として住宅リフォーム助成制度を提案したい。地元業者に発注すると、工事費用の5〜10%助成する制度で、埼玉県では

500万円の予算で、24倍の1億2,000万円の経済効果が出ている。わずかな予算で市民も業者も助かるリフォーム助成実施について。
A 助成制度は、財政的に難しい。

Q 放課後の児童育成事業は

石下 洋子 議員

A 旧能美3町に合わせた

市長

Q 両親が働いている児童のため放課後児童健全育成事業が、4月から縮小されるが、この事業の主旨から考えて縮小すべきではないと思うが。
A 財政的に困難なので、3町に合わせて縮小した。

Q 多くの市民が「国保税が高い、なんとかならないか」と言っている。国保基金(7億円)を取り崩しても減額できないか。
A 国保財政は、毎年1億5,000万円赤字。減額は適当ではない。

Q 大須・秋月小学校PTAと市当局が、学校統合についての覚書を取り交わしたとのことだが、両校の統合は、市議会でもまだ議決されていない。議決前に覚書を取り交わすのは問題ではないか。

A 覚書の締結は、統合に向けての前段階で、統合を決定するのではない。
統合の決定は、市議会の議決である。

▼ 放課後児童健全育成事業施設



Q 農・水産業に助成制度を

山本 郁男 議員

A 技術、情報等で援助する

市長



▲ 江田島湾での底引き漁

Q 昔よく獲れていた、よなき貝・シヤコ・トリ貝等が全く獲れなくなった。海底の酸素不足によるものではないか。昔の漁法の一つで、貝漕ぎ等で使うケタ漁に助成制度を設け、海底を耕すのも手法の一つではないか。

A 個人の事業に補助金を出すことは非常に難しい。その他の技術面、情報等で援助していきたい。
Q 5戸以上の就農者が、新種の苗等を購入し、ブランド化を図ろうとする

る時に、助成を行うことも活性化につながるのではないか。
A 野菜組合、花き組合、果樹組合等が市内の各地域にあるので、そこに助成を行っている。
Q ゴミステーションに放置されている家電

等の不法投棄物処理は、一定期間において処分するが、心無い人達がいるのは非常に残念です。

Q 若者が定住する町づくりは

浜西 金満 議員

A 住みやすい施策を考える

市長

Q 江田島市次世代育成支援行動計画で、市長は、少子高齢化と人口減少の進行の歯止めの対応を図っておられます。広島市・呉市への交通アクセスも向上していますし、自然度の高い豊かな生活環境・定住環境なの

で、人口流出の歯止めはできると思います。市の分譲地の販売にも力を入れ、若者人口を増やすための施策を、どのようにお考えか。

A すぐれた自然環境、広島市・呉市に近いという条件を生かし、住みやすい地域づくり、多彩な交流づくりを進めています。交流人口を増やし、にぎわいをつくりだし、地域を活性化して江田島市をアピールし、交通アクセスを充実させ、若い人が住みやすい施策を考えていきたい。



▲海が見える日当りのよい大君・久保田団地

Q 国道に歩道の新設を

林 久光 議員

A 関係機関と協議する

市長



▲歩道の設置が望まれる国道487号

Q 市街地の国道で、一部歩道が設置されていない区間がある。高田地区で、ここは直線で見通しもよく、車はかなりのスピードで走っており歩行者は非常に危険な状態にある。特に市営住宅

出入口は、歩道も横断歩道もない。付近を通る通学路も歩道がないため、ほかの市道をう回している。

A 新年度セクションを強化して、安全・安心の施策を専門家にやらせたい。総合的に道路の環境あるいは子供達の安全、そして、高齢者の生活上での安全確保等に取り組む。未然に事故を防

ぐ上にも、歩道の確保は是非とも必要である。地元住民の方と連携し、関係機関と協議して進めたい。

Q 市税等の収納率の向上は

部谷 健司 議員

A 職員全員で鋭意努力する

市長

Q 平成17年度予算上の滞納見込額(市民税・国民健康保険税等)は、いくらかあるのか。

A 滞納見込額は、11億3,772万円である。なかなか一挙には解決できないだろうが、正

直者が馬鹿をみる世の中であってはならない。収納率の向上にどのような対策を執行するのか。例えば、月一回滞納者特別徴収日を設定

A 滞納者の実態を把握する段階である。また、職員の徴収する心構えの意識改革をする。

Q 市長及び幹部職員が自ら滞納者の家に行つて、市の財政の苦しさを説明して、滞納金を1円

でも徴収するという、汗をかき熱意はあるのか。

▼滞納対策に取り組む市民生活部滞納対策課



Q 海底管の更新を

太刀掛 隼則 議員

A 調査し計画する

市長



▲前早世浄水場(江田島町高須)

毎日の生活にきつてもきれいな水です。安全で安心した水の供給こそ、水道事業の使命であると考えております。

Q 老朽管の取り替え工事の進捗状況を。そこで、質問します。

A 状況を見ながら計画していく。

Q 約60パーセントです。17、19年度にかけ、794メートル計画し、19年度以降は漏水の

A 耐用年数が40年経過しているため、近い将来敷設替えを行う必要があると考えている。

Q 水道料金245円は近隣市町村と対比して安いのか、高いのか。

おわびと訂正

前回発行の『江田島市議会だより創刊号』14ページの「一般質問Q&A」の市長答弁中、「シーサイド温泉能美の源泉を利用したケアハウス・・・」となっていました。シーサイド温泉のうみの源泉を利用したケアハウス・・・の誤りでした。訂正しておわびいたします。

おめでとう自治功勞で表彰

町議会議員として、永年の功勞により、3氏が表彰されました。

全国町村議会議長会表彰
【議員在職15年以上】

広島県町村議会議長会表彰
【議員在職25年以上】



大方 俊治 氏



梅比良 修 氏



久保田 正信 氏

平成17年第1回臨時会

企業会計特別委員会を設置

助役に津山氏，収入役山西氏

平成17年第1回臨時会が、1月24日開かれました。当日は、曾根市長から諸報告があった後、助役と収入役の選任同意について、それぞれ無記名投票を行い、助役に津山直登氏、収入役に山西文男氏を選任することに同意しました。続いて、平成16年度一般会計予算など議案18件と議員発議1件を原案どおり可決し、閉会しました。



選任同意について投票する各議員

選任に同意

助 役 津山直登氏
収入役 山西文男氏

発議

◎企業会計特別委員会の設置

本市の企業会計の調査研究を行うため、江田島市企業会計特別委員会を設置した。

【委員長】

久保田 正信

【副委員長】

古本 眞 機

【委員】

山根 啓 志
下河内 泰 志
住岡 淳 一
倉田 健 治
廣永 数 夫
加藤 隆 光
沖元 大 洋
沖也 寸 志

可決した
主な議案
◎公有水面埋立てに関する意見
広島県知事から、沖美町美能漁港施設用地（1万1,886・2㎡）として使用するため、公有水面埋立ての申請に関する意見諮問があり、異議なしと答申した。

◎過疎地域自立促進計画の策定
江田島市発足により新たに過疎地域として公示を受けたので、旧4町の計画を取りまとめて策定する。

●平成16年度当初予算（千円未満切り捨て）
【一般会計】
99億2,795万円

【特別会計】
◎国民健康保険特別会計 22億344万円
◎老人保健特別会計 23億4,766万円
◎介護保険特別会計 16億855万円
◎住宅新築資金等貸付事業特別会計 9,193万円
◎港湾管理特別会計 2,701万円

◎漁港管理特別会計 698万円
◎公共下水道事業特別会計 11億9,050万円
◎農業集落排水事業特別会計 5億5,318万円
◎地域開発事業特別会計 3億1,038万円
◎教育振興奨学金特別会計 851万円
◎振興事業特別会計 10万円

旧4町単位に選挙区

初の市議選定数10―3

平成17年第2回臨時会が、2月21日開かれました。当日は、平成16年度一般会計補正予算など議案7件及び議員発議1件を原案どおり可決し、閉会しました。

発議

◎江田島市議会議員の選挙区を設け、及び各選挙区において選挙すべき議員の数を定める条例
例
平成17年2月21日以後初めて告示される一般選挙のみ、次のとおり適用する。

選挙区	区域	選挙すべき議員の数
江田島選挙区	江田島の区域	10人
能美選挙区	能美町の区域	5人
沖美選挙区	沖美町の区域	3人
大柿選挙区	大柿町の区域	8人

可決した 主な議案

◎障害者福祉施設設置及び管理条例の廃止
◎財産の無償譲渡

知的障害者更正施設「倉橋の里」は、平成12年度に江能4町及び音戸・倉橋町が共同設置し、社会福祉法人「江能福祉会」に運営委託している。建物を「江能福祉会」に無償譲渡することにより、将来の大規模改修等の経費負担がなくなることや、民設民営で運営することにより支援費が増額されるなど将来的にも安定した経営が図られることから、現行の設置及び管理条例を廃止し、江

能福祉会に無償譲渡する。
◎16年度補正予算（第1号）
【一般会計】
8億8,263万5千円追加し、108億1,059万2千円とした。
補正の主なものは、鹿川小学校校舎改築に伴う工事費等です。
【特別会計】
◎国民健康保険特別会計 2,742万円追加し、22億3,086万8千円とした。
◎農業集落排水事業特別会計 29万円追加し、5億5,347万2千円とした。

委員会レポート

建設常任委員会

1月27日、建設事業の状況視察を実施。
平成16年度予算に係る建設事業の概要説明を関係部・課から受けた後、市内の工事個所を巡回し、施工状況等を見学しました。



厚生常任委員会

2月7日、ノロウイルスに関する研修を行った後、市内の特別養護老人ホーム「江能」と同「誠心園」を視察しました。
「江能」では佐々木敏之理事長、誠心園では平野典子園長と水口道子副園長から概要説明を受け、施設内を案内してもらいました。



文教常任委員会

3月3日、市内の学校施設の視察を実施しました。
教育委員会から概要説明を受け、能美学校給食共同調理場と能美中学校体育館を見学。その後、能美中学校で授業参観を行い、給食の試食をしました。



潮干狩りシーズン到来!



(4月9日 江田島町切串人工干潟)

新緑の下で健康ウォーク



(3月20日 のうみグリーンウォーキング＝能美町真道山)

甘いイチゴ観光農園



(3月中旬 沖美町是長)

まちがど
フォト
スケッチ

五月の空で泳げこいのぼり



(4月17日 大君空山会設営＝大柿町大君小学校)

大きく育て桜の幼木



(4月3日 大須区記念植樹＝江田島町大須)

議員・職員協力し、海辺スッキリ



(1月29日 長瀬海岸清掃作業＝能美町中町)

大盛況ノ特産品に人だかり



(3月6日 沖美町かきカキマラソン大会＝沖美町高祖)

○発行
江田島市議会
○編集
議会広報
特別委員会

後記 編集

3月議会で、江田島市の平成17年度予算が承認されました。

特に財政状況が非常に厳しい中なので、市長や議員など、政治に携わる者は、今後の江田島市の進む方向をどのようにするのか、明確な方針を市民に示し、市民の方々が将来に対し希望が持てるようにすることが望まれます。

私たちが広報特別委員会は、写真を多く掲載して、理解しやすい紙面づくりに努力し、議会と市民の皆さんとの距離を近づけてまいる所存です。

議会広報特別委員会
副委員長 浜西 金満



次の定例会は6月です。お気軽に傍聴にお越しください。

※問い合わせ先 江田島市議会事務局
〒737-2302 江田島市能美町鹿川2011番地2 (江田島市農村環境改善センター内)
TEL (0823) 40-2241 FAX (0823) 40-2151